

議 会 だ よ り

No. **178**

平成29年10月発行



三島町桐の里町民運動会（10月8日）



目 次

- | | |
|-------------------|--------------------|
| ●町長挨拶…………… P 2 | ●議会の経過・日程…………… P15 |
| ●9月定例会…………… P 3～4 | ●編集後記…………… P16 |
| ●一般質問…………… P 5～14 | |



町長挨拶

矢澤 源成

平成二十九年第三回三島町議会定例会にあたり、議員各位の御出席を賜り開会できますことに敬意と感謝を表する次第であります。

さて本年は、例年になく暑い夏が短かったように感じられました。また梅雨が明けたにも関わらず、雨の日が続いたことから、野菜などの農作物の生育不良など、収穫がままならない作物もあったと聞き及んでいます。これから稲作の収穫時期になってきます。稲作については天候不良の影響があまり見受けられないと聞いていますので、今後、台風被害がないこと、刈り入れ時期には晴天が続くこ

とを願っているところであります。

行政諸般について

第一点 「東北電力株只見川管理所新築工事」について

東北電力株が大登字八木ノ平地内の約七反歩の土地買収を計画していましたが大登地区の皆様のご協力により契約が整い、只見川管理所新築及び敷地整備が八月二十八日より着工しました。今年度は敷地整備のみで、平成三十年度より管理所新築工事に入る予定で、町民の皆さんには何かとご不便をおかけしますがご協

力のほどよろしくお願いします。

第二点 「奥会津三島町ものづくり展」について

「奥会津三島町ものづくり展」を九月一日から五日まで京都市において開催しました。これは県の補助を受け、町単独でおこなった文化の象徴である京都において展示会を開催できたことは非常に意義深いものでありました。また京都府副知事をはじめ各団体を代表する方々をお招きして

おりましたので、会津桐タンスや奥会津編み組細工が目の肥えた方々にどのような評価されるのか、いささか不安はあったものの、大勢の方々から高い評価をいただき、改めてその価値を確認できましたことは、一緒に参加された友の会や桐タンス社員の方々にとって大きな自信になったと思います。機会がありました

ら、次年度以降も開催できるように進めていきたいと考えています。

第三点 「若者単身用住宅中乙田団地C棟新築工事の安全祈願祭」について

九月五日、若者単身用住宅中乙田団地C棟新築工事の安全祈願祭が工事関係者の出席のもと執り行われました。地権者及び仲介いただきました皆様、また工事関係者には春からの敷地造成工事、住宅の建設と順調に推移していますことに感謝申し上げます。

住宅はまちづくりそのものという考えから、三島町に住みたい、あるいは三島町の住宅に住んでみたいということを重点に置き、町民の皆さん、発注者や設計者、そして工事関係者が一体となって地元建材の使用や環境に優しい住宅づくりを進めていきます。

第四点 「三島町敬老会」について

式には百九十七名のご出席があり、また六組の結婚五十年となる金婚祝いの表彰など、出席者の皆様の元気なお顔を拝見し、私も元気をいただいたところで

アトラクションでは、三島保育所の年中・年長組によるおゆうぎや三島町太神楽保存会の長獅子を披露していただき、また、いわき市出身の藤川えみ子さんの歌謡ショー、郡山市出身のボランテシア団体の皆様方のマジックショーや踊りなどもあり、十分楽しんでいただけたことと思います。今後ますますお元気でご活躍くださることを願うものです。

9月定例会のあらまし

9月定例会は、11～15日までの5日間開催され、平成29年度一般会計及び特別会計補正予算が8議案、平成28年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定、固定資産評価審査委員会委員の選任同意、教育委員会委員の任命同意など、町長より提出された18議案について審議し、全て原案通り可決・認定・同意しました。

一般質問には、5人の議員が登壇し、町政全般について質しました。（5頁～14頁に掲載）

【可決された条例等】

三島町固定資産評価審査委員会委員の選任同意

次の方が同意されました。任期は平成29年10月1日から3年間です。

○滝谷 目黒 忠昭 氏

三島町教育委員会委員の任命同意

次の方が同意されました。任期は平成29年10月1日から4年間です。

○大石田 五十嵐 豊子 氏

議 員 提 出 議 案

○「全国森林環境税」の創設に関する意見書について

○地方財政の充実・強化を求める意見書について

の2議案が採択となり、関係機関に提出されました。

【平成29年度9月補正予算】

(単位：千円)

会計区分	補正予算額	補正後の予算額
一般会計	242,896	2,921,987
国民健康保険特別会計	948	319,235
簡易水道事業特別会計	26,344	249,739
路線バス事業特別会計	109	28,439
農業集落排水事業特別会計	—	27,400
介護保険特別会計	19,377	488,532
戸別合併処理浄化槽事業特別会計	2,700	51,604
後期高齢者医療特別会計	—	31,724

○一般会計補正予算の主なものは次のとおり○

【歳入関係】

・ 普通交付税	44,688 千円
・ 一般寄付金（1社3名）	3,299 千円
・ ふるさと納税（44件）	2,702 千円
・ 繰越金	186,018 千円

【歳出関係】

・ 積立金	198,000 千円
・ ふるさと納税返礼品	1,351 千円
・ 屋内遊び場確保事業遊具購入	811 千円
・ 大登及び大谷地区内光ケーブル移設工事	5,400 千円
・ 多目的集会施設（ひだまり）修繕	406 千円
・ 人形劇・児童劇等公演	612 千円
・ 農林産物加工品等展示販売施設（第二物産館）改修工事	3,134 千円
・ 大登地区防火水路修繕及び滝谷地区防火水路取水口修繕	1,400 千円

一般質問

五人の議員が問う



二瓶 俊浩 議員

補助金及び助成金について

答 「間違いはあるもの」という意識をもつて各部署でチェックを行う

議員 国や県の補助金等の不正受給が毎年問題となっていますが、特に今年になって件数が増え、マスコミ等でも大きく報道されています。言つまでもなく補助金、助成金は皆の税金であり、それを不正に使用することは許されることではありません

せん。補助金は要件を満たした法人等が申請し、補助金を利用することとだけ事業が活性化、社会に貢献できるかなどの必要性をはつきり示し、利用されるものです。福島県においては続けざまに数件発覚し、県では補助金の交付済み企業の

調査や外部委託等も含め審査の更なる強化をしつかり進めるとのことです。当町においても国や県から町への補助、県から町を通して企業や法人への補助、また町独自の補助や助成があります。町はこの不正問題をどのようなとらえ、また適正な

運用のための考えがあるのか伺います。
町長 議員ご指摘のとおり国や県、各種団体及び当町においても不正利用の実態がマスコミ等に多く取り上げられています。そもそも補助金や助成金の運用に当たっては要綱等が定められ、

その目的に沿って事業が実施されます。基本的には補助交付を受ける団体が申請をし、その内容が目的に合致したもので計数的に間違いがないか補助交付する機関が審査し、決定を下す。その後は事業を実施し、実績報告を行い、実績どおり完了しているか、書類や現地を確認して事業完了となるものです。

この不正問題解決には、今ほど申しあげた申請時、事業実施時、実績報告時の各種面で厳しいチェックを行うていくことが必要です。あり、どの一部分でもチェックを疎かにすると不適正な運用になるとの認識をもって当たらなければなりません。

緊急時の対策対応、危機管理体制について

答 あらゆる方法による救助を実施するなどの対応に併せながらソフト整備の充実も図る

議員 異常気象の影響が年々想定外の災害が発生していますが、幸

い当町は今のところそれ程大きな災害はありません。しかし、いつ

どこで発生するかわかりません。今年度は非常用備蓄倉庫の設置を

計画していますが、今年想定外の災害が起こることを考え対策をし

なければならぬと思います。私は、第一に孤立す

る集落を出してはならないと考え、役場を中心とし、病院、国道な



消防団による送水・中継訓練

どに遠回りをして通
行のできる迂回路等を
整備しておくことが大
切だと思っています。町の
考えを伺います。

また、八月二十九日

朝、北朝鮮からミサイ
ルが発射されＪアラ
ートが配信されました。

多くの町民の方が不安
と戸惑いを感じたこと
と思います。各地でト
ラブルが相次いだよう
ですが、町はどう考え
ますか。

町長 近年の異常気象
とも言える気象による
影響は過去の事例をは

るかに超える災害をも
たらしていることは、
報道等によって知ると
ころであり、その多く
は想定外の規模であつ
たと耳にします。この

ような未曾有の災害が
常時発生しますと想定
外と言う考えはないに
等しいと認識します。

幸い、当町は大きな災
害も無く済んでいるこ
とは喜ばしいものでは
ありますが、今後大き
な災害には合わないこ
う確証はありません
ので、どのような状況
であつても対応できる
体制にしておかなけれ
ばなりません。

一概に災害と言つて
も、地震、台風、豪雨、
豪雪などの自然災害の
他、他国からの外因的

被害なども考慮しなけ
ればなりません。私は
これらの災害に対応す
るうえで、生命の保全
を第一に考え、対策を

とることが必要と考え
ます。

議員ご指摘の孤立す
る集落を出さないこと
は重要なことではあり
ますが、当町のような
山間地では、想定され
るため難しい課題でも
あります。そのような

中で迂回路の整備につ
いては、平成二十八年
六月の議会定例会でお
答えしたとおり、国県
道については災害時の
重要性から整備促進の
要望を続け、町が管理
する路線については、
主要な路線の危険箇所
対策に重点をおき、随
時、整備を進めていま
す。しかし現実には迂
回路となる路線の整備
にまで至っていない状
況です。

また、迂回路として
整備するには、その路
線が災害時の迂回路と
して機能が確保できる
か、整備するための経

費など多岐にわたり検
討しなければなりません。
具体的な路線を選
定しながら整備の可能
性を探っていくことと
なり、一概にすべてを
整備して行くことは困
難であると考えます。

いずれにしても、災
害時において集落が孤
立化することの無いよ
うできる限り主要道路
の整備を進めていきま
すが、ハード整備には
時間と費用がかかりま
すので、想定される災
害に合わせ各地区にお
いて利用できる国・
県・町道、林道等を有
効に活用しながら、避
難経路を地区住民の方
々と検討し、お互いに
共有することが重要と
考えます。

八月二十九日早朝の
他国からの弾道ミサイ
ル発射の情報が国のＪ
アラートを通じ町の防
災行政無線からサイレ
ン音とともにメッセー
ジが流されました。各
地でのトラブルは報道
や県から周知された文
書により知ることとな
りましたが、原因は多
様で、それぞれに要因
はあったようですが、
それらを踏まえ担当課
へは日常の点検等を疎
かにしないよう指示し
たところです。

また想定外の災害に
対しても警察・消防等
関係機関とあらゆる方
法による救助を実施す
るなどの対応と併せ、



小柴 正洋 議員

生活工芸村構想について

答 定住に繋がるような制度にする

議員 アカデミー受講生の今後の進退、次年度の募集についてと山ぶどう栽培事業の状況を伺う。

町長 アカデミー受講生の今後の進退については、アカデミー生と月一回の面談をとおしてカリキュラム内容や生活状況等の聞き取りを行っており、その中でアカデミー終了後がイメージできず、不安を感じるとの声もよせられています。

また生活工芸村づくり推進委員会において、年度当初からアカデミー生修了後の定住に向けて議論がされていますが、具体的な提案にまでは至っていません。

せん。しかし生活工芸に関係する業務の中で数年間の技術の研鑽ができる仕組みづくりを検討しており、委員会の中でも一年間という期間では短いのではとの意見もいただいていますので、町としても二年、三年と住んでいただく定住に繋がるような制度にしていきたいと考えています。

次年度の募集については、町ホームページに掲載し、九月一日より募集を開始しています。今後は、雑誌・新聞、首都圏での移住フェア等のイベントに参加し周知していきま

す。山ぶどう栽培事業に

については、昨年度より生活工芸運動友の会に委託しています。業務内容としては、美坂高原内の植栽苗百六十本の生育管理、除草・施肥作業を、また昨年度名入地区に挿し木した千二百本の生育管理として、水散布及び除草作業を実施していただき三百本程が植栽可能となっています。この

ことから多くの山ブドウ苗が生育するよう、本数を昨年より増やし

て実施していきたいと考えています。

また、次年度に向けて山ブドウ採取と畑に挿し木を実施する予定です。挿し木は西方財産区の皆さんが山ブドウ栽培を行いたいとの



材料採取を行うアカデミー受講生

道路整備事業について

答 継続して要望活動をしていく

議員 一、国・県道で杉峠トンネル化、滝原バイパス、大谷バイパス、松原バイパスは要望活動の重点事項ですが進展しているのか。していないのであればそれはなぜか。

捗に課題があり、現在はその課題解決に向け福島県と連携して取り組んでいます。また会津若松建設事務所との懇談会において現状の説明がありましたので報告します。

住民の方々の組織化の動きも始まり要望にも同行いただき、住民活動も活発になっていきます。事業が少しでも進展するように継続して要望していきます。

二、林道の荒廃が著しいのは、手が足りないからか、元から管理をする気がないからなのか伺う。

国道四〇〇号においては、橋脚を活用した現道への接続ルートの整備を優先に進めるとしています。用地問題があるため、町も協力して対応していきます。

国道二五二号線滝原地区に関しては土地買収に関して共有地等の課題があり、ルート検討が難航している状況です。買収可能なルート検討も含め今後対応していきます。

町長 一、議員ご指摘の国道四〇〇号杉峠、国道二五二号線滝原バイパス、主要地方道会津若松・三島線バイパス、一般県道滝谷・松原線バイパスについては福島県への重点点として要望しています。

しかし、ご存じのとおり、トンネル化が事業検証で外されたこともあり、この再計上に向け、三町村同盟会でも福島県に要望活動を実施しています。また、昨年度からは地域

一般県道滝谷・松原線バイパスは今年度用地買収に着手し、改良工事が一部着手されます。

以上、現状の報告をさせていただきますが、この各事業は町の最重要要望ですので、当町が連携することで事業が進展することがあればどのようなことでも協力して行く所存です。議会におかれましても要望活動等への同行及び、事業進展に議会の協力が必要な場合はご協力よろしくお願いします。

二、林道管理については、町が定めた「林道維持管理運用規程」により基本的に林道は「林業施業のための道路」であり、除草等の管理に関しては「森林所有者及び居住者」が実施することと規定されています。しかし、各地区では高齢化のために管理もままならない状況も発生していますので、これに対応するため町は、昨年度より林道管理も含めて地区で実施できる「道路サポート制度」を立ち上げ、各地区で申請いただき、林道管理を実施している地区もあります。ご指摘の荒廃している路線に関しては、この制度を活用いただき管理していただけるよう地区に周知していきます。

しかし、今後、高齢化が進む当町にとっては、林道等の管理がさらに厳しい状況が続くものと想定されます。町が取組む林業施策のなかで森林資源を活用することとあわせ、林道等の管理について独自の事業化ができないか検討していきたいと思えます。



工事再開が望まれる国道400号橋脚

地区人足について

答 コミュニティの維持・醸成に必要な不可欠ではあるが、労働力に似合った活動範囲を見直すなどの対策を講じていく必要がある

議員 人口減少で千六百人をきり、それに伴い高齢化も進み、人手不足により各地区で人足は苦勞している。今

後も人手不足は進み、充分な管理、対応ができなくなると考えられることから町の考えを伺う。

町長 日本全体が人口減少時代に突入し、当町においても、過去の国勢調査でもわかるように県内でも第一、二

位の人口減少率を記録してきたところだ。このような状況から第一次から第四次振興計画まで一貫して定住

化、人口増の施策を推進してきましたが、現在の人口千六百七十七人、高齢化率五一・

六％と人口減少に歯止めがかかっていない状況です。このような中、二十年ほど前から、「限界集落」や「消滅自治体」などの言葉が誕生し地区存続が問題視され、当町においても同様の集落が発生しています。また当時から地区存続のための労働力が高齢化し、地区の維持がままならな



桧原地区で行われたごみ拾い

いという話は聞かされ

ており、その都度各地区は対策を練りながら四半世紀以上コミュニティを存続させてきました。議員ご指摘の地区人足については、地区により性質も違い、財産管理や環境整備、

祭事等に各地区で人足と称した作業活動が行われています。これら地区での活動は町づくりにとつても大きな意味合いを持ち、各地区のコミュニティの維持・醸成に必要な不可欠な活動でもあります。その観点からも町としてもできる限り支援を進めていきたいと考えています。

その一方で地区の人足について、町が様々な活動範囲を見直すなどの対策を講じていただき、地区のコミュニティを疲弊させることの無いようにしていただきたいと考えます。



長谷川清雄 議員

町道・林道の維持、管理について

答 地区要望や路線としての順位を優先して実施している

議員 現在、当町においては町道林道等、大変多くの路線を管理維持しています。その中で高齢化、人口減少により利用される人が限定的になってきている路線も見受けられ、維持管理もままならない状態の路線もあるようです。そこで次の点について伺います。

一、現在、町が管理している町道、林道は何路線で、何kmくらいか。

二、通行止め等の措置をしている路線の維持管理はどうなっているのか。

三、路線のパトロールはどれ位の頻度で、どのように行われているのか。

また、管理の行き届かない自動車通行が可能な道路については最低限の道路機能が維持できるようパトロールを行います。

刈り等も実施している

知し、地区と連携して管理できるよう対応していきます。

四、利用者が少なく管理もままならないと思われる路線は今後どのようにしていくのか。

五、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

また、管理の行き届かない自動車通行が可能な道路については最低限の道路機能が維持できるようパトロールを行います。

刈り等も実施している

知し、地区と連携して管理できるよう対応していきます。

五、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

六、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

また、管理の行き届かない自動車通行が可能な道路については最低限の道路機能が維持できるようパトロールを行います。

刈り等も実施している

知し、地区と連携して管理できるよう対応していきます。

五、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

六、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

また、管理の行き届かない自動車通行が可能な道路については最低限の道路機能が維持できるようパトロールを行います。

刈り等も実施している

知し、地区と連携して管理できるよう対応していきます。

五、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

六、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

また、管理の行き届かない自動車通行が可能な道路については最低限の道路機能が維持できるようパトロールを行います。

刈り等も実施している

知し、地区と連携して管理できるよう対応していきます。

町長

一、現在、町が管理している町道、林道は何路線で、何kmくらいか。

二、通行止め等の措置をしている路線の維持管理はどうなっているのか。

三、路線のパトロールはどれ位の頻度で、どのように行われているのか。

また、管理の行き届かない自動車通行が可能な道路については最低限の道路機能が維持できるようパトロールを行います。

刈り等も実施している

町道 七十七路線
五、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

六、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

また、管理の行き届かない自動車通行が可能な道路については最低限の道路機能が維持できるようパトロールを行います。

刈り等も実施している

知し、地区と連携して管理できるよう対応していきます。

林道 十九路線
五、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

六、利用している路線で補修や維持がそろそそかになっているものもあるようですが速やかな対応をお願いしたい。

また、管理の行き届かない自動車通行が可能な道路については最低限の道路機能が維持できるようパトロールを行います。

刈り等も実施している

知し、地区と連携して管理できるよう対応していきます。

五五、四八四mを管理をしています。

二、現在、通行止めの措置をしている路線

定期的な観察により管理していますが、除草等に関しては、優先順

また、昨年度から「道路サポート事業」により地区の路線の草

刈り等も実施している

三、路線のパトロールはどれ位の頻度で、どのように行われているのか。

①町道西方・大石田線

名入字蛭原地内（通

等）に関しては、優先順

また、昨年度から「道路サポート事業」により地区の路線の草

刈り等も実施している





矢澤 昇 議員

桐の里産業株式会社について

答 エゴマを中心とした園芸作物の取り組みを計画・実施する

議員 一、八月の説明

会において代表取締役
に副町長がつき執行役
員・社員については検
討中ということでした
が、その後どうなった
のか。

二、水田、トマト、
エゴマ、養蜂等、様々
な業務に取組んでいる
ようですが一番の収入
は何か。また高額の一
宮補助を受けているの
でそれに応えられるよ
う努力をしていただき
たい。

町長 一、執行役員人
事に関しては、以前に
も説明したとおり要請
した方に引受けていた
だけなかったことから
新たな人選に難航し、
現在の執行役員は空席

になっています。

設立時に町内で該当
する方に依頼しました
が辞退された経緯があ
り、またこのような状
況下の中での人選は更
に困難を極めますが、
今後も継続して人選に
当たってまいりますので
議員の皆様におかれま
しても、適任者と思わ
れる方がおられましたら
町と連携してお声掛
けいただきますようお願い
します。

地域おこし協力隊一
名が八月末をもって退
任し、桐の里産業株式
会社への支援も終了し
ました。

また社員の方々につ
いては今後も会社へ残
っていただけるよう依

頼し、この度、ほとん
どの方は今年度中も業
務に従事していただい
ることとなりました。

しかし、次年度以降
については社員が減少
することは明かですの
で、町内での社員募集
やハローワーク等に登
録し、広域的に社員を
募集するなど、新年度
への体制をしつかりと
執ってまいります。

二、議員ご指摘のと
おり今年度は水稲・ト
マト・エゴマ・養蜂・
レタス・ヒラタケを栽
培・出荷しています。

まだ収穫のすべてが
終了していませんので
確定で申し上げること
はできませんが、やは
りこの中で一番の収入

源は水稲であると思
います。

今年度は皆様もご存
じのとおり、水田作業
に重点をおいて春先か
ら作業に取組んできま
した。各地区の方々か
らもこれまでとは違い
しつかりとした管理が
できていると評価をい
ただいており、収量に
関しても現状では昨年
以上の収穫量が期待で

き、収入についても昨
年以上は見込めると期
待しています。しかし

水稲管理は、収益の上
がらない自己保全管理
などの対応もしなくて
はならず、会社経営を
潤せる収入とはなりま
せん。このため美坂高
原で福島県農業改良普
及所の指導の下、エゴ
マの栽培に取組み、水
稲以外での収益を目指

しましたが、今年の天
候不順、低温により生
育が思わしくない状況
で、予定していたエゴ
マでの収入は厳しいも
のとなりそうです。ま
たトマト、レタスにつ
いても水稲への業務配
分のため規模を縮小し
て行い大きな収入には
至らない状況になって
います。

今年度は、ご指摘い
ただきました水稲管理
については無事に収穫
するところまでしまし
た。今後は、水稲以外
のエゴマを中心とした
園芸作物をどのように
取組み、会社の収入と
して挙げていくか計画
し実施していきます。



美坂高原で栽培されているエゴマ

国道二五二号線高清水地内の舗装について

答 引き続き要望をしていく

議員 国道二五二号線高清水地内の舗装については地区要望事項として町に提出してお

り、先の回答書では県に要望しているのとこのでしたが、その後の進展は。

また、ところどころパッチングをしたようですが、一番悪いところがさがれています。

このパッチングで終わりののか、そうでなければ雪降る前に早急に実施していただくよう県に強く要望していたきたい。

町長 地区要望を受け、町としては国道二五二号線の管理者である福島県宮下土木事務所

に要望しました。宮下土木事務所からパッチング修繕が実施されますが、地区内の全舗装に関しては宮下土木事務所管内で同様のケースが多数あるため優先順位により実施して

美坂高原の活用について

答 利用料収入が生み出せるような事業に繋げていきたい

議員 以前小高い丘に芝桜を植えたかどうかと提案し、回答では春から秋までの期間フラワーパークとする事業を展開したいとありました。その後どうなったのか。

確認し打合せを行いました。その内容を基本として設計業務を委託し九月中には計画図案が出来上がる予定です。その後これを基に遊歩道や植栽等の整備を進めていきます。

次年度以降については、昨年度開催しました三島町観光施設等利活用推進プロジェクト委員会です。基本的な管理業務等

と併せ、美坂高原で利用料収入が生み出せるような展開に繋がっていきます。

また、来年度以降の活用方法は。

町長 議員ご指摘のフラワーパーク事業については、雪解け後の五月に造園業者と現地を

は、昨年度開催しました三島町観光施設等利活用推進プロジェクト委員会です。基本的な管理業務等

は、昨年度開催しました三島町観光施設等利活用推進プロジェクト委員会です。基本的な管理業務等



美坂高原



青木 喜章 議員

森林整備事業への取組みについて

答 各地域に「補助事業」の情報提供し、希望する地域には説明を行う

議員 一、国の来年度予算の概算要求において森林整備等について相当額の事業予算が要求されたという新聞報道がありました。これを受け、当町における

木質バイオマスを含めた取り組みを具体的にどのように進めるのかお聞きます。

二、各地域において道路沿い、家の周り、墓地の周りなど里山を含め木が大きくなっています。また最近の異常気象により危険を感じるところも多くなっていると感じられます。

本来自らであれば各自で対応しなければ成りませんが、現状ではそれができません。国・県に

おいて様々な補助事業や助成金があります。鳥獣被害の防止、更には山・里山の場合に交付される交付金制度について町民の皆様はまだよく知らされてい

ません。生活の安全、鳥獣被害の防止、更には里山整備による雇用の創出等を考える時、町民の皆様に広く色々な事業を知ってもらう



「ふくしま森林再生事業」による間伐

よう取り組むべきだと思いますがいかがか。

町長 一、今年度設置を予定していました「三島町林業施策計画策定委員会」を去る八月七日に設置し、第一回の委員会を開催しました。今後、委員会において三島町が有する森林資源をどのように活用していくか、委員の方々から様々な意見を出していただき、施策として実施可能な事業等を整理し、町へ提案をしていただくよう協議を重ねていただきます。

また委員会の具体的な取組みとしては、森林資源活用として各地域で実施されている木

質バイオマスによるエネルギー利用導入を当町でどのようにしていくか検討いただき、加えて大きな課題である森林の育成、間伐や伐採といった森林管理を今後どのようにしていくのか新たな視点で検討していただきます。

二、当町で実施している森林関係補助事業には、「ふくしま森林再生事業」があり、この導入に関しては、これまで町が主となり、森林基本図をベースに伐期に達している地域を選定しています。事業遂行上の課題である境界や相続、所有者等の問題を避けるため、現状では公社造

林や共有地での実施を行っていますが、地区でまとまれば対象地域として選定し、平成三十二年まで事業を実施します。

また、「森林環境税」を活用した福島県補助事業「里山林整備事業」など地域が主体となって実施できる補助事業がありますので、今後は各地域に情報提供し、希望する地域には説明に伺うなど周知を図っていきます。

空き家対策について

答 データベースの更新に努める

議員 空家等対策協議

会を七月上旬に開催し

たいと六月議会で答え

られました。いつ、

どのような委員の方で

開催されたのか伺いま

す。

空家データベースは現在

公開されているのか。

また空き家の中でも売

り家、貸家等色々な形

態があると思いますが

現在の情報収集は誰が

どのようにおこなって

いるのか伺います。

町長 七月十二日に空

家等対策協議会を発足

しました。私が会長を

務め、委員は町議会議

員、司法書士、建築士、

空家家解消や移住に関

わっておられる民間団

体の方及び町職員の七

名であります。今後

は、空家等対策計画の

策定並びに空き家の利

活用推進について協議

していきます。

昨年度実施しました

空家等データベース構

築事業において、平成

二十八年十一月一日現

在で百八十一件の空き

家を確認しています。

そのうち所有者の意向

が確認されたものが百

十三件、その中で賃貸

や売却を希望された方

は十三件でした。うち

十一件については追加

調査を実施していま

す。また積極的な情報

発信可能物件は五件

で、空き家バンクとし

て現在町ホームページ

に掲載すべく準備をし

ているところです。

情報収集については

地域政策課を窓口とし

て、昨年度調査事業に

ご協力いただいた事業

者の方々や所有者等か

らの情報提供を基に、

その都度現地確認等

を行いデータベースの更

新に努めています。

免許返納者へのフォローアップについて

答 利便性の向上については今後も進める

議員 運転免許証を返

納する高齢者の方が増

えています。他の町で

は電車賃やタクシー代

の補助や買い物の割引

など色々と考えられて

います。今後増える

と思われる交通弱者に

対し町としてどのように

フォローしていくのか

伺います。

町長 昨今の高齢者に

よる交通事故が後を絶

たない中、自動車免許

証を返納する機運が高

まっています。自動車

免許証を更新する際、

高齢者講習を受講する

などを課し、体力的・

能力的な判断から免許

証を返納しなければな

らなくなる方や自らの

判断のもとで自主返納

される方と個人によ

り返納の方法が変わっ

てきます。もともと先

に述べましたように高

齢者の事故を減らすこ

とを目的に自主返納を

促していますので、効

果的な対策であれば検

討を進めたいと考えて

います。

また、交通手段のない高齢者等、いわゆる交通弱者に対しては、町内の移動手段として路線バスやデマンドバス等の運行をおこなっており、高齢者に対しては低価格の設定で実施しています。現状でおこなえる対策は実施していますが、利便性の向上については今後も進めていきます。



デマンドバス

町外への移動手段については、今後JR只

議 会 の 経 過 ・ 日 程

▶ 8月 ◀

- 1 日(火) 両沼地方町村議会議長会議長行政調査(茨城県美浦村～2日)
- 6 日(日) 第70回福島県総合体育大会県民スポーツ大会会津地域大会(柳津町)
- 8 日(火) 第51回全会津商工観光推進大会(西会津町)
- 9 日(木) 第3回議会臨時会
全員協議会
- 14日(月) 地区対抗ソフトボール大会
- 15日(火) 成人式
- 24日(木) 福島県町村議会議長会正副議長事務局長研修会(福島市～25日)
- 28日(月) 三島町単身用住宅新築工事安全祈願祭
- 31日(木) 「奥会津三島ものづくり展 in 京都」(京都府～9/1)

▶ 9月 ◀

- 4 日(月) 檜枝岐村立百周年記念式典
市町村対抗軟式野球大会壮行会
- 6 日(水) 三島町敬老会
- 7 日(木) 議会全員協議会 議会運営委員会
- 8 日(金) 特別養護老人ホーム桐寿苑長寿を祝う会
- 10日(日) 杉山純一県議会議長杯ゲートボール大会
- 11日(月) 第3回議会定例会(～15日)
- 13日(水) 両沼西部三町村小学校陸上記録会(金山町)
- 16日(土) 市町村対抗軟式野球大会(本宮市)
- 25日(月) 県道小林会津宮下停車場線「美女峠」改良促進期成同盟会総会
国道400号杉峠改良促進期成同盟会総会(柳津町)
- 28日(木) 会津の編み組工芸品展審査会

▶ 10月 ◀

- 3 日(火) 福島民報社「地域づくり交流会」(会津若松市)
- 4 日(水) 県庁職員「大沼会・河沼会」、県庁職員三島会(福島市)
- 6 日(金) 会津若松地方土地開発公社理事会(会津若松市)
市町村対抗軟式野球大会三島町チーム解団式
- 8 日(日) 三島町桐の里町民運動会
- 14日(土) 会津の編み組工芸品展(～15日)
両沼地方交通安全町村民大会(金山町)
- 20日(金) 県道柳津昭和線・滝谷松原線整備促進期成同盟会総会(柳津町)
- 23日(月) 福島県町村議会議員研修会(郡山市)
- 31日(火) 福島県市町村教育委員会連絡協議会両沼支部秋季総会



議会傍聴においでください

12月議会は
12月中旬に開催予定です。

議会傍聴の手続きは簡単です。役場2階傍聴席入口で住所と名前を書くだけです。

編集後記

この議会だよりが町民の皆様へ届く頃には秋の収穫や冬を迎える準備で何かと忙しい時期と思います。

九月定例議会は決算議会とも言われ、平成二十八年度の各会計の決算承認が主な内容でした。

過疎・少子高齢化が進む中、町民の皆様の生活が良くなるよう、また若者の移住・定住につながる様々な施策が行われていますが厳しい状況です。

しかし、地域おこし協力隊や生活工芸アカデミー受講生の移住により町の雰囲気は明るくなり、また空き家の活用等、色々な面で活性化しています。

今後、木質バイオマスへの取り組みも検討され、雇用が増え、人口の減少が抑えられればと思うところです。

町民の皆様から議会に対して様々な声をお寄せいただきますようしくお願いいたします。

(青木喜章)

議会広報編集委員会

編集委員長 小柴 正洋

編集副委員長 青木 喜章

編集委員 大竹 克昌

〃 矢澤 昇

〃 長谷川 清雄